



尾崎眞吾のみすゞぎやらり
「こころ」より

こころ

おかあさまは
大人で大きいけれど、
お母さまの
おこころはちいさい。

だって、お母さまはいいました、
ちいさい私でいっぱいだって。

わたしは子どもで
ちいさいけれど、
ちいさいわたしの
こころは大きい。

だって、大きいお母さまで、
まだいっぱいにならないで、
いろんな事をおもうから。

金子みすゞ全集
「JULA出版局」より

《私の好きな詩》 高木 和幸（自営業）

みなさん 偶然に聴こえてきた昔の曲で、懐かしい景色や、思い出の人の記憶が甦る事はありませんか？ 私は、この詩を見るたびに初めてこの詩を知った時のことがすっぱく思い出されます。

この詩に出会ったのは、2001年11月3日、とある小学校の体育館、外はかなり激しい雨がふっていた様な記憶があります。矢崎節夫先生のお話も終盤に近づき（もちろん、その日が先生と初対面でした）この詩は先生の声に乗って、私の心に届いてきました。それまでのお話は、主催者側の一員として落ち着いてお話を聞くことが出来なかったのですが、その時は不思議に間が空き、会場の一番後ろの席に座った時でした。

女性の詩を男性の声でと・・・先入観を持ったのですが、その詩“こころ”はストレートに心に入ってきました。

女の子の視点から詩のようですが、深い母親の愛情があふれるこの詩は、娘の笑顔を思い出し、その10年前に、こどもに恵まれない私達を最後まで心配しながら先立った母を思いだし、保護者として子育てに関わる環境に感謝した事が今でも甦ります。

今度こそきちんとはじめから矢崎節夫先生のお話を・・・と、この会の仲間になったように思います。

『人は熱しやすく冷めやすい』誰かに聞いた話ですが、私の場合、年に一度みすゞコスモスの会で熱くなるのが習慣になっています。この会で皆さんの心の中にあるみすゞさんの心にお会いするのが楽しみです。

そうそういつか一人娘に「父のこころは？」を尋ねられたら答えようと思っていた言葉があります（私は、娘に父と呼ばれています）

「おとうさんの胸は厚くて広いだろ だから きみだけではいっぱいにならなくて 君の大好きなおかあさんも入ってるんだよ」

口に出せぬまま娘は、今秋 17歳になります・・・



会員の期限更新のお願い

さくら咲く美しい春になりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

1年の過ぎるのは早いもので、会員の皆さまに期限更新の手続きをしていただく時期となりました。

昨年は、4月に新居浜・西条の新1年生500名に夕顔の種をプレゼント、11月には「樋口一葉と金子みすゞ」を会員の皆様のご協力のもと、多くの皆様とともに楽しむことが出来ました。また、年間を通じてジャスコイエローシート運動への参加や、大西フラワーさんと会員の皆さまによる空き缶回収や、募金活動などで、「ネパールみすゞ基金」に協力することが出来ました。

1年間ご協力くださいましてありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

これからも、『みすゞさんのやさしいところ』を大切に「石鎚みすゞコスモス」をみんなで育ててまいりたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。(お友達もお誘い下さい。)

なお、会をよりいっそう充実するためにご意見・ご希望等をどしどしお寄せください。

★年会費・・・2000円(通信費・事務費など)

★お振込み日・・・お早めにお願ひ致します。

郵便振替用紙を同封いたしております。お早めにお振込みくださいますよう、よろしくお願いいたします。(お近くの役員さんにお渡しいただいても結構です。)

11月14日(土)・・・第12回石鎚みすゞコスモスの集い

★『スプーン博士と』と『金子みすゞ』～ほしとそらのしたで～

★出演：佐治晴夫・矢崎節夫・らくさぶろう他　ご協力お願いいたします。

「思い出のアルバム」



皆で舞台を作りました



佐々木市長さんのご挨拶



開演前受付にて



ゲストの皆さん



ゲストを囲んで

祝
来館者80万人

金子みすゞ記念館

2月16日

80万人を越えた

6年目の

うれしい記録

2019.2.16 佐治晴夫

高松みすゞさんの会＝イベントお知らせ みすゞさんのうれしいまなざし

一部 講演・・・矢崎節夫先生

二部 みすゞトーク・・・上村ふさえさん&矢崎節夫先生

★ 日時、3月29日(日)

開場、12:30 開演13時

場所、高松市民文化センター3F講堂

★ 申し込み先、

高松保育園(堀)

TEL:087-882-5241

浮田民恵:080-3923-1867

(午前及び夜のみ)です。

今回は、会員の高木さんからのお便りを紹介いたしました。

石鎚みすゞコスモスを立ち上げるきっかけとなった矢崎先生の講演会だったように思います。朝からどしゃ降りの雨で、体育館の中はかなりの騒音でした。開口一番、

「僕は、雨の中の体育館は、滝に打たれているようで、好きなんですわね…」このひと言が、参加者の皆さんそして、主催者の皆さんのところを和ませ、どんなにか安心させてくださったことでしょう。……。

昨日のこのように思い出されます。